

# サキグロタマツメタの駆除努力評価

福島県水産試験場 相馬支場

## 1 部門名

水産業—その他—アサリ

## 2 担当者

富山 毅

## 3 要旨

松川浦では他海域由来の巻貝サキグロタマツメタによるアサリの食害が確認されており、2004年から漁業者がアサリ漁業の際に混獲されるサキグロタマツメタ成員を駆除している。駆除量、成員の分布密度、漁業者が駆除した成員のサイズの経年変化をもとに、駆除努力を評価した。

- (1) 駆除量は2005年以降低下したが、駆除効率（CPUE）はほとんど変化がみられなかった（図1）。駆除されたサキグロタマツメタの殻高はほとんど20mm以上であり、平均32mm、最大で57mmであった。
- (2) 9mm目合のふるいで調査した分布密度は0.4～1.2個体/m<sup>2</sup>で大きな変化はみられなかった。一方、1mm目合のふるいでは3.1～14.7個体/m<sup>2</sup>と大きく変動し、近年では増加傾向にあった（図2）。
- (3) 駆除した成員のサイズは2007～2008年に大きく、その後わずかながら小型化する傾向がみられた（図3）。
- (4) 以上から、漁業者が駆除できていない小型のサキグロタマツメタが増加していると考えられた。また、漁業者は2009～2010年に駆除努力を強化しており、このことがサキグロタマツメタのサイズの減少に寄与した可能性があることから、今後も駆除努力の強化を継続すべきであると考えられた。

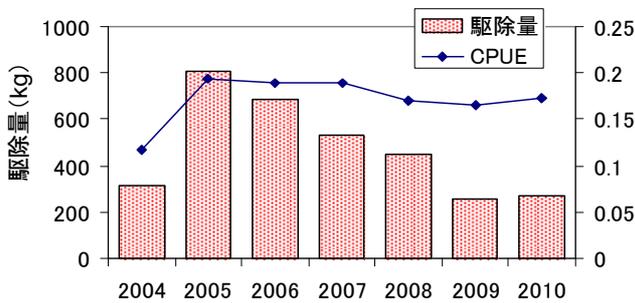


図1 駆除量と駆除効率（CPUE）

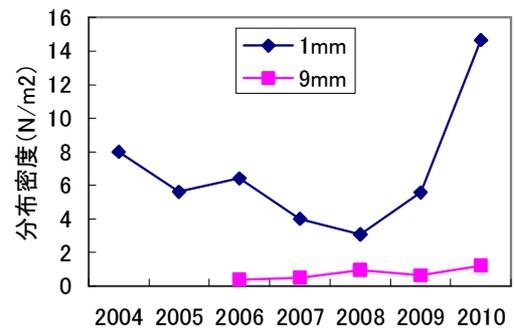


図2 サキグロタマツメタ成員の分布密度

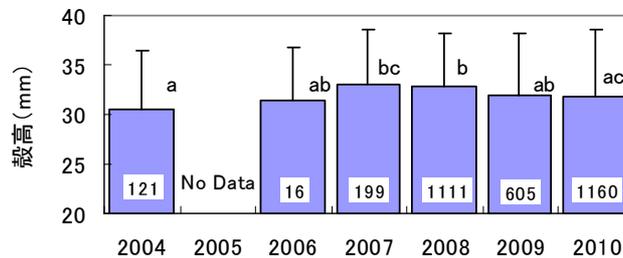


図3 駆除された成員の殻高（平均と標準偏差、数字はサンプル数、Tukeyの多重比較検定）

## 4 主な参考文献・資料

- (1) 佐藤利幸(2008) 福島県松川浦におけるサキグロタマツメタ移入の経緯と現状. 日本生態学会東北地区会会報68, 41-43.
- (2) 富山毅ほか(投稿中) 外来性巻貝サキグロタマツメタの松川浦における移入および分布. 日本水産学会誌.